

地域未来投資促進法に基づく承認地域経済牽引事業計画

資料

【事業計画】

バイオ医薬品及びワクチン原薬の開発・製造棟の新設と開発・製造設備の導入

【事業者】

企業名 : AGC株式会社
事業実施場所 : 横浜市鶴見区弁天町2 (AGC横浜テクニカルセンター)
営業品目 : 医薬品等の開発製造受託

【事業概要】

- 事業実施期間
令和7年1月1日～令和11年12月31日
- 背景
 - ・同社は、総合素材メーカーとして幅広い分野で事業を進めるとともに、近年では医薬品関連事業も積極的に展開。特に医薬品等の開発・製造受託 (CDMO) 事業では、グローバルな事業基盤の構築を進めている。
 - ・一方、今後も成長が見込まれる最先端のバイオ医薬品や、先のコロナ禍で必要とされた感染症ワクチンについては、海外生産拠点への依存度が高いため、特に有事において国内でのタイムリーな供給生産が難しいといった国内バイオ医薬品業界の課題がある。
- 事業内容
 - ・横浜テクニカルセンター内に新棟を建設し、最新の医薬品開発・製造設備を導入することにより、バイオ医薬品の国内での開発・製造能力の拡大を図り、高水準の開発・製造サービスを実現する。
 - ・これにより、付加価値創出額33億2,900万円を目指す。

新棟 (完成予想図)



新棟の概要

- 階数 : 地上4階建
- 立地場所 : 神奈川県横浜市鶴見区弁天町2
- 延床面積 : 18,827㎡
- 着工 : 令和6年10月(予定)
- 開設 : 令和8年12月(予定)

新拠点の特徴

- ・動物細胞を用いたバイオ医薬品製造に加え、mRNA医薬品、遺伝子細胞治療薬の開発・製造に必要な設備も導入。
- ・mRNA医薬品については、同社の千葉工場での原料製造とともに国内での一気通貫製造が可能となる。
- ・動物細胞培養槽においては、国内最大級の施設
- ・感染症有事においてタイムリーにワクチン等の医薬品を開発・製造できる体制も構築。